

令和5年度羽曳野市事務事業評価シート(令和4年度実施事業)

					事務事業コード		132-01-01	
事務事業名		恵我ノ荘駅前南側広場整備事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)	
					連絡先		内線2212	
担当部署名		道路整備推進室			予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち			款	8	土木費
	施策	3	道路・交通			項	2	道路橋梁費
	施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化			目	2	道路舗装改良事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	駅前南側の利用者全ての方						
	目的 (どうしたいか)	文化・ふれあい交流拠点として、駅利用者の利便性と安全性確保、及び交通ターミナル機能の強化を目指す。						
	手段 (事業内容)	駅前南側広場を整備する。						

予算・決算額		(単位:千円)			※主な内訳(令和4年度決算)※
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	【事業費】 ≪一般会計≫ 旅費 3千円 原材料費 5千円 ≪特別会計≫ 不動産鑑定手数料 278千円 道路用地管理工事費 1,838千円
当初予算額	事業費	366,643	292,494	359,317	
決算額	事業費	51,605	2,125	—	
	特定財源等	0	0	—	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	協議件数	単位	件
指標の説明	駅前南側広場整備事業に関する協議の件数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	12	12	12
実績	12	12	－

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	駅前南側広場事業用地取得率	単位	%
指標の説明	事業用地取得面積÷駅前南側広場面積(1400㎡)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標(見込)	100	100	100
実績	78	78	—

個別評価		
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響は大きい。
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。

総合評価	現状維持	今後の改善内容
(担当部局による総合評価の理由や課題) 平成30年度より用地取得に着手し、都市計画決定されている区域においては、現在事業用地の取得率は78.2%となっているが、ここ数年停滞している。引き続き用地交渉を重ね事業推進を図る。		(令和5年度以後の事業実施への改善内容) 本年度、すでに取得した事業用地を有効に活用し、恵我ノ荘駅南側に一般車両の送迎スペースの暫定整備を行い供用開始している。今後も引き続き用地取得のため交渉を行い、用地協力が得られた段階で駅前広場の完成形の整備を速やかに実施する。